

学校名		太良町立大浦中学校		
1 前年度 評価結果の概要	・毎日の家庭学習において、学習時間の確保と内容の充実に取り組む必要がある。今後は「eライブラリ」等を活用し、自発的な学習を促したい。 ・教職員の時間外勤務については、職員数の減少に伴う業務の適正化を図るために、各分掌間の連携と分掌事務の整理・統廃合を含めてさらなる見直しが必要である。			
2 学校教育目標	郷土大浦を愛し 強く 賢く 美しく生きる生徒の育成			
3 本年度の重点目標	・粘り強さの育成と挑戦できる機会づくり ・主体的な学びを促す授業づくりと気づき考え実行する力の育成 ・立ち止まったの挨拶と無言掃除の徹底			
4 重点取組内容・成果指標				
(1) 共通評価項目				
	重点取組		具体的な取組	主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践	○授業が分かると答える生徒の割合80%以上。	・西部型授業「考える」「考え合う」「振り返る」場面に書く活動取り入れた授業実践を行う。 ・「授業づくりのステップ1・2・3」の各ステップでのタブレット端末の有効活用を目指す授業研究会を行い、研究成果を共有する。	研究主任 (学力向上コーディネーター) 授業づくり部会長
	○家庭学習の習慣化	○フォーサイト手帳を活用することで、日々の「振り返り」ができていた生徒の割合が90%を上回る。 ○タブレット端末を家庭学習で活用させている職員の割合が70%を上回る。	・「家庭学習の手引きリーフレット」を活用し、家庭学習の習慣化、学ぶ力を育てる。 ・フォーサイト手帳を活用し、学習や生活に主体的に取り組む姿勢を客観的に自己評価させる。 ・授業と家庭学習を連動させるためのタブレット端末の有効活用を目指す研究を行い、研究成果を共有する。	研究主任 (学力向上コーディネーター) 家庭学習部会長
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○友達や級友に対して思いやりのある言葉遣いや言葉かけを行っている生徒が90%を上回る。 ○道徳の授業や人権学習集会などで学習したことは自分の心の成長に役立っていると考えた生徒の割合が90%を上回る。	・生徒一人一人が、安心して学校生活が送れるような支援体制づくりを全職員で行う。 ・生徒の実態に応じた道徳の授業を、全職員で計画的に行う。 ・担当職員を中心に、人権学習集会を計画的に行う。	道徳教育推進教員
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○職員がいじめ問題への対応や取組に対する、生徒評価、保護者評価で、80%以上	・毎月、生活アンケートを実施し、生徒指導主事を中心に全職員で生活面での問題の早期発見・早期対応につなげる。 ・生徒会と連携し、人権集会の開催や人権標語の作成などを通して、いじめをなくすための取組を行わせる。	人権・同和教育担当者 生徒指導主事
	●◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒75%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒70%以上	・キャリアパスポートを利用して、学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりさせ、自分の進路について意欲的に考えさせる。 ・構成的グループエンカウンター等を利用して自己肯定感や有用感を高める。	進路指導主事
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○「早寝早起朝ごはん」できていると答える生徒80%以上	・生徒の意識・関心を高めるために、保健だよりの発行や検診内容に関する資料の掲示を行う。 ・健康診断の事後指導を丁寧に行い、その後も健康相談を継続的に行う。 ・生徒会の保健体育委員会を中心に感染症予防・健康維持についての定期的な働きかけや調査を行い、意識や行動の変化を確認する。	養護教諭 食育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○適正な部活動運営	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○部活動休養日の設定と完全実施率100%を目指す。	・毎週水曜日を定時退勤日、部活動休養日とし、時間外に行事等を入れない。 ・業務内容を精選する。また、業務を分担し、一人に過重負担がないようにする。 ・週2日の休養日の設定を体育主任を中心に徹底し、適正な部活動運営に対する共通理解を図る。	管理職 体育主任 各部活動顧問
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				
	重点取組		具体的な取組	主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
○	○学校教育目標の周知・徹底	○教育目標「郷土大浦を愛し 強く 賢く 美しく生きる生徒の育成」と重点目標について、生徒及び保護者への周知率を90%以上とする。	・学校教育目標、重点目標について、校内に掲示すると同時に、学校だより、ホームページ等を通じて生徒、保護者への周知徹底を図る。 ・職員会議資料やPTA役員会資料に学校目標を掲載することで、職員とPTA役員等にも周知徹底を図る。	管理職 (ICT支援員)
○	○地域とともにある学校づくり	○「地域に誇りを持っている」と答える生徒の割合が80%以上	・ボランティア活動に積極的に参加させる。 ・保護者が行事に参加しやすい日程を設定したり、内容を工夫する。 ・地域支援コーディネーターを中心に、地域の教育資源や人材をいかした体験活動や講演会を実施する。 ・サービスマーケティングを行う。 ・HPを使って積極的に情報発信を行う。	管理職
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育				
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・			